

## コース43 ちやうすだけしゅうかい 茶臼岳周回

リーダー CL N/S SL E/S  
 実施日 平成29年10月11日(水)  
 天候 曇り時々晴れのち霧 グレード B上  
 参加者 27人(男性 8 女性 19)



### コースポイント

ポイント	到着時間	出発時間	備考
秋葉区役所前		5:30	磐越道安田6時まで交通止め。新鶴から一般道へ。
那須 RW 山麓駅	9:14	9:40	平日にもかかわらず RW は満員。観光客が多い。
山頂駅 1,684m	9:45	9:47	点呼後、山頂を目指してガスの中を出発。
茶臼岳山頂 1,915m	10:35	10:42	時々晴れるが視界が利かず。記念撮影をして即下山。
無間地獄 1,750m	11:33	11:33	白煙と硫黄臭。息づく火口で岩が温かい。
姥ヶ平 1,594m	12:10	12:50	晩秋のひょうたん池で班毎に記念撮影。昼食
牛ヶ首 1,730m	13:21	13:21	霧に包まれ視界が利かず体が冷えてきた。
スキー場 P 1,230m	16:00	16:15	高雄口へは濃霧で濡れ岩と長い下り道。時間を掛け歩く。
秋葉区役所前	19:50		新津駅西口、無事に帰着

### 山行等概要(幹事のコメント)

- 紅葉の見頃は例年より1週間早いとの報道があった。美しい紅葉が見られることを期待しての出発であった。RW 山麓駅は満車。
- 那須連峰の主峰茶臼岳へは標高差 231m の登り。隊列を組んで快適に登る。
- 山頂からお釜コースを下り、硫黄鉱山跡から無間地獄へと進む。右下は一面の紅葉とひょう



うたん池が視界に入る。左上は山頂の溶岩ドーム、隆起したのが610年前とのこと。無間地獄は硫黄臭と噴煙を上げて不気味さを感じられた場所である。

- 姥ヶ平への下りは赤、黄に染められたパステルを楽しんで目的のひょうたん池へと向かう。生憎の曇りで逆さ茶臼が見られず。
- 高雄登山道は霧で足元が濡れ、周囲は見通しが利かず幽玄の世界へと踏み込んだようであった。
- 無事に帰着できたことが、最高の喜びです。感謝いたします。

# 茶臼岳周回に参加して

(1668) Y/T

5時半、小雨の中を出発。刈り入れの終わった秋景色の中を4時間、那須ロープウェイ山頂駅に立つ。

霧が深くて見通しがきかない。足許の火山礫だけを見ていきなりの急登である。どこをめざしているのかわからないまま歩く。心なしか石が暖かくかすかに硫黄の匂いがする。1時間程で那須岳神社の小さな鳥居が眼に入る。これが頂上？

山頂からの眺望はないが、霧は少しずつはれてきた。だんだんと巨岩帯になる。そのあたりから噴煙と硫黄の匂いが強くなった。噴火口跡を取りまく巨岩は累々と続く墓標の様、足許は宵の河原の石積みを連想させる。すごい所へ来たなと思った。その時雲が切れた、なんだこれは！すごい！細い隙間に一瞬見えた紅葉である。皆の歓声が上がった。空は晴れ上がってきた。無間地獄あたりで、紅葉はすっかり姿を現した。深紅と緑の、これでもかと幾重にも層を成す大パノラマである。その美しさに言葉を呑む。下ってひょうたん池でまた風情の異なる紅葉を楽しみ姥ヶ平で昼食。ここまで休みなし腹へった！12時50分出発、霧がまた深くなってきた。牛ヶ首まで登り16時スキー場へ降りた。何事の事故もなく帰路に着く。

素晴らしい一日を計画して下さったリーダー、役員の方々、同行の皆様、ありがとうございました。



山頂へ



お釜を下山



無間地獄へ



姥ヶ平へ



姥ヶ平



ひょうたん池



1班の皆さん



2班の皆さん



3班の皆さん



4班の皆さん



高雄道を下山